

女性はもっと活躍できる!

平成26年1月28日、講師に(公財)21世紀職業財団会長の岩田喜美枝さんをお迎えし、「女性はもっと活躍できる!」と題して男女共同参画講演会を開催しました。

岩田さんは香川県高松市のご出身。1971年に労働省(当時)に入省、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長を最後に退官され、その後資生堂の副社長や顧問に就くなど活躍する女性としてのよきロールモデルとなっています。

働く女性支援に関わってこられた立場からの、女性の活躍の必要性や取り組むべき課題についてわかりやすいお話は、参加者から「もっと長く話を聞きたい」などの意見をいただくなど好評でした。

なぜ女性の活躍が必要なのか

我が国では、少子高齢化、人口減少社会が到来するなか、「女性の活躍」は国の成長戦略の中核に位置づけられ、首相も国会をはじめ、随所でコメントするなど重要なテーマとなっています。

では、なぜ今「女性の活躍」が必要とされているのでしょうか。

日本の女性の働き方は、欧米の先進諸国に比べ、育児期にいったん離職しその後復職する場が依然として多く、女性の年齢別就業率が「M字カーブ」を描く特異な働き方になっています。また、管理職に占める女性割合も、就業者に占める女性割合に比べて国際的に見ても低い状況にあります。

このような状況では、グローバル社会での企業の持続的発展は望めません。女性の活躍推進に取り組む企業には経営にプラスの影響がでていることが、近年の数多くの調査からも明らかになってきています。

女性が活躍できる職場になれば男女すべての人材の有効活用が図られ、また、多様な社員が活躍することで様々なニーズに応え、社会の変化やリスクに対応できる強い企業になると期待されています。

取り組むべき課題

岩田さんは女性の活躍度合を3段階に分けて考えられています。(右図参照)

女性の活躍推進のためには、3つの課題に取り組む必要があると話されました。

(1) 仕事と家庭責任(育児や介護)の両立支援

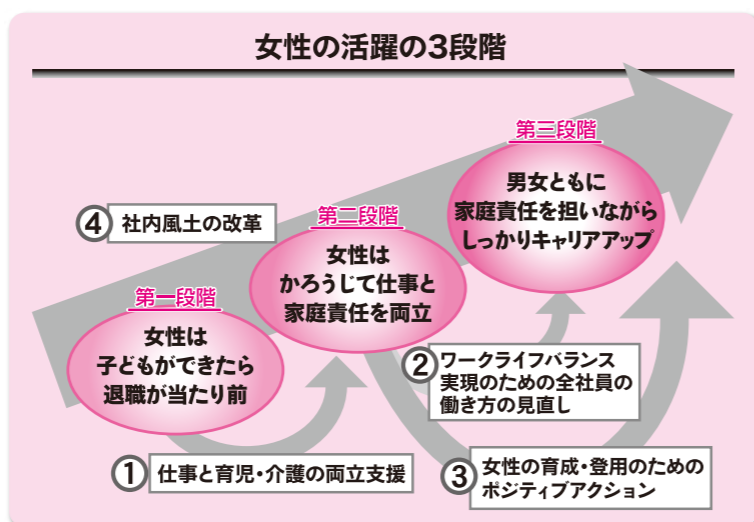
仕事を免除する育児支援からフレックスタイムや在宅労働といったフレキシブルな働き方を認める両立支援策の質の転換が必要。また、男性が仕事と育児を両立できるよう、周りの理解と長時間労働の見直しが必要。

(2) 全社員の働き方の見直し～ワーク・ライフ・バランスの実現のために～

限られた人数や時間で仕事がこなせるよう、一人当たりの労働生産性を向上する必要がある。そのために、業務の廃止やプロセスの簡素化、配置の見直し、タイムマネジメント強化など働き方の見直しが必要。

(3) 女性の育成・登用のためのポジティブ・アクション(積極的改善措置)

男女に均等な機会を保障するだけでは現実の男女間格差の解消には程遠い。格差縮小を早めるためには、女性の育成・登用の目標を設定するゴール・アンド・タイムテーブル方式などの特別な取り組みが必要。



働く女性に向けたメッセージ

講演の最後に、働く女性に向けてアドバイスをいただきました。

- キャリアづくりをあせらない!
- チャンスは来る、夢をあきらめない!
- 出産を希望するなら先に延ばさない!
- (今の仕事で最善を尽くす ⇒ 不遇を乗り越える)
- 転職はいいけれど、仕事を辞めてはいけない!
- 後輩女性の力になる!

香川県で活躍する女性たち

～香川県で活躍する女性たちを紹介する冊子ができました!～

『輝く女 in かがわ』



この冊子は、県内の企業や地域で活躍されている女性を広く紹介し、郷土を愛する「かがわの人」に元気になってもらい、香川県の活性化につなげたいという趣旨で香川県が作成したものです。

多くの方が推薦された中から、企画委員会による選考を経て65名の女性が掲載されています。

さまざまな分野で活躍する女性のみなさんの元気なメッセージを是非ご覧になってください。

冊子は市内図書館や男女共同参画室、県庁県民室、各県民センターなどで閲覧できます。そのほか、香川県のホームページ(かがわの男女共同参画)からダウンロードすることもできます。

■丸亀市を中心に活動をされている方々

- ・尾崎 美恵さん(四国夢中人 代表)
 - ・三原 典子さん(丸亀市農業委員会委員)
 - ・高橋 勝子さん(特定非営利活動法人さぬきっずコムシアター 理事長)
 - ・本西 志保さん(株式会社ミンク 代表取締役)
 - ・中野レイ子さん(丸亀市教育長)
 - ・劉 宇 さん(エンジェルRGカガワ日中 新体操教室講師)
 - ・間崎 由美さん(株式会社Sante 代表取締役)
- (以上掲載順)

3月1日～8日は

「女性の健康週間」です!

【糖尿病と野菜摂取】

香川県は、糖尿病の受療率が2008年の調査で全国ワースト1位、2011年はワースト2位で、糖尿病を原因とする人工透析をする人が増えてきています。また、2010年の国民健康・栄養調査によると、香川県民の一日当たりの野菜摂取量は男性が全国46位で、女性は最下位の47位でした。

そこで、香川県では『糖尿病ワースト1脱出事業』の一環として、適切な生活習慣・食習慣について普及啓発に取り組み、2012年の野菜摂取量は男性17位、女性16位と改善しましたが、基準量よりは少なめです。

【糖尿病とは?】

糖尿病はかなり進行してからでないと自覚症状が現れません。

このような症状ありませんか?

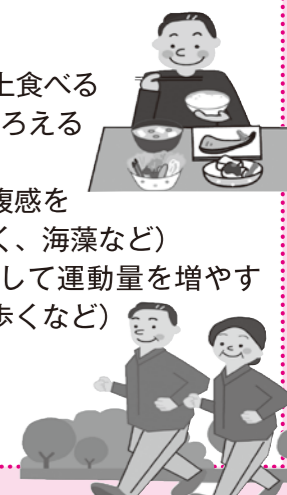
- 全身がだるく疲れやすい
- おしっこ回数が増えて、量も多い
- とても喉が渇く
- 足がむくむ、重くなる
- 手足がしびれたり、ピリピリする
- ちょっとした傷の痛みを感じない

【糖尿病予防法】

糖尿病は肥満と深い関わりがあります。糖尿病の予防法は肥満を防ぐ事がポイントです。

できたらチェック 肥満改善ポイント

- 1日3回決まった時間によく噛んで食べる
- 腹八分目を心がける(茶わんは小ぶりに)
- 野菜は1日350g以上食べる
- 主食・主菜・副菜をそろえる
- 食べ始めは野菜から
- 低カロリー食品で満腹感を(きのこ、こんにやく、海藻など)
- 忙しい毎日でも工夫して運動量を増やす(できるだけ早足で歩くなど)
- 階段を使う
- 電車の中で座らない



バランスの良い食事・運動習慣を身につけ、性別に関わりなく、中高年になる以前から糖尿病をはじめとする生活習慣病に備えましょう。

(健康課成人保健担当より)